



出
新
公
用
留

中

7.多
6099
6-9



門内録
號6099
卷6-3

之之御所公用及卷一中

目錄

- 一 文藏人出奔 牙切利しんが書云々
- 一 越後子藩系歌和細村又七邊物咲之書云々
- 一 越後子藩系歌安房村古七邊物咲之書云々
- 一 武名藩系歌谷村古七邊物咲之書云々
- 一 白戸神田中町七丁目書云々
- 一 越後山前村古七邊物咲之書云々
- 一 遠在古田近小戸書云々

- 一 御所の藩主御酒防新田大清村可住出入
- 一 武名中流村可住出入
- 一 清水所御酒防新田大清村可住出入
- 一 上流所御酒防新田大清村可住出入
- 一 上流所御酒防新田大清村可住出入
- 一 武名中流村可住出入
- 一 清水所御酒防新田大清村可住出入
- 一 上流所御酒防新田大清村可住出入
- 一 上流所御酒防新田大清村可住出入
- 一 武名中流村可住出入
- 一 清水所御酒防新田大清村可住出入
- 一 上流所御酒防新田大清村可住出入

- 一 御所の藩主御酒防新田大清村可住出入
- 一 武名中流村可住出入
- 一 清水所御酒防新田大清村可住出入



之乃抄紙之刊百卷之中

乃為人取取中加判也

此忠以書月本朝上

本系抄之印意也而上下利根新

本中上之高村也其文也其

也其也其抄本也其出入也其

御本也其抄本也其出入也其

其抄本也其抄本也其出入也其

乃其抄本也其抄本也其出入也其

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

作年物石初若又之昭年一又文在也る法公之我本
 類並出山品のし列人、若し何人文は也の場名者何と
 大之昭年一若し何人文は也の場名者何と
 方し何人文は也の場名者何と
 在米取也者若し何人文は也の場名者何と
 若し何人文は也の場名者何と
 精々若し何人文は也の場名者何と
 若し何人文は也の場名者何と
 若し何人文は也の場名者何と
 若し何人文は也の場名者何と
 若し何人文は也の場名者何と
 若し何人文は也の場名者何と

文政七年七月

東京濱中仲急り石

上原利根形勢地村

多喜

三河年

徳川

市古島

即ち若し何人

我知山和物材又七昭物は也る其若し何人

何人何人何人

御物子若し何人何人何人何人何人何人
 若し何人何人何人何人何人何人何人何人何人
 若し何人何人何人何人何人何人何人何人何人
 若し何人何人何人何人何人何人何人何人何人
 若し何人何人何人何人何人何人何人何人何人
 若し何人何人何人何人何人何人何人何人何人

即並忠以上所儀然し所仰持本意と
大業寺より通御書遣主御書以上

如丹無無名所也

細州小藩寺殿和物村

百四

又七

文政七年八月八日

即本より西極

細州小藩寺殿安宿村右七空親法合三三三
り志以事身をまら上

細州小藩寺殿安宿村右七和細村より又七
本中より七空親法合三三三
内宿早人の極ひをり

所儀中し以此より所儀出る大七空親法合三三三
捕らぬはくし之所は三捕出し而七空親法合三三三
又七空親法合三三三
細州小藩寺殿安宿村右七和細村より又七
所儀中し以此より所儀出る大七空親法合三三三
捕らぬはくし之所は三捕出し而七空親法合三三三
又七空親法合三三三
細州小藩寺殿安宿村右七和細村より又七
所儀中し以此より所儀出る大七空親法合三三三
捕らぬはくし之所は三捕出し而七空親法合三三三
又七空親法合三三三

細州小藩寺殿
安宿村右七

又七

和物村右七

又七

即本より西極

即本より西極

所之利及裁評証人等之等々

此書以古身本中上

伊予本は其の所代也其の裁評証人等之等々
此中其の所代也其の裁評証人等之等々
其の所代也其の裁評証人等之等々
其の所代也其の裁評証人等之等々

所之利及裁評証人等之等々
裁評証人等之等々
本中上以上

伊予本は其の所代也其の裁評証人等之等々

文及中下二平八月廿

神田松出所
利八

御中以上

白神田松出所是下月貸金之文及評証人等

此書以古身本中上

神田仲川是下月貸金之文及評証人等
本中上以上
其の所代也其の裁評証人等之等々
其の所代也其の裁評証人等之等々
其の所代也其の裁評証人等之等々

杉年我中一多此分我城子新而致以南村有能其年
以身代り人オ古七本中下今能回言垣何之可自
小七度之十年故身代り彼指好しく大在年外大
場りおをとり代り人オ夢哉多身金滞出入中一立
大系安居居者能く本出得弟其下即取ら一
即其列取裁右附本出入書印一様束以五書書
たて本中上と

一 海防人ノ十年代りは新三州分中一立り中島三月
中一久在年兼り由余能能致十何五本古也り人支
砂人等も本令一立り立滞り中一立り

は故書是信海防人ノ十年七旬備正使新三州
才一向之能いあも一在し各人金銀一取川出仕能地のみ
一在り其利能之在年十也書其年一在能正之編成
立了村一人買也一楊清汁一於之只所而し其樹
いあもと協せ多出り能之和り由昔而能大屋村有姓
其和も一と一いあもりも十何村編回能所一也
此子多也也つ、乃十年來又之と編買入能一いあも
其つ之能人、いあもりも十年一も其能中出りも一立人
子多也也つ、乃編回七拾反買入り能、以中付りも
いあもりも一、七書其の所中一、身代り、之編成上

諸君教之有本好以之何幸以 所意也以後即
賢者以此本不主而往來一上十可子年也也
一曰此本出在平不實也編者於一任事
於遠之平一以平古節古也一也今本之編者
於近之十平是也一重之大林之節雜良之市掛以所
記便月以りを原本記上以上

於平神字以

細部正篇重致以南村

百餘頁平叙本代

りて

二平七七

大傑十三年十月

所評定所

此評定所古記本一 前上より其抄及古記本を
以て評定するに前上より

土道名吉田以少物字記本評定所

二平七七

東海名吉田名以少物字記本評定所
此評定所古記本一 前上より其抄及古記本を
以て評定するに前上より
一 寄名吉田以少物字記本評定所
馬本古記本一 以て評定するに前上より

武家一の証文一紙中朱所定長沙云々
以是形本山林法音少と安意と云
之上行と終望帳一取捨之証文
物と名物之類未可也并云
退散云々証文

文政九一廿二日

松平信直
遠在吉田殿
三好
信人
代

官

所奉申所存

越後守藤原政経新田大寺村
山法出入

山法出入

藤原主膳正信
越後守藤原政経新田
山法出入
山法出入
山法出入
山法出入
山法出入

村よりいへば何れもいへば仕末の事即ち内なる事
中より中よりいへば今之定案よりいへば是又協和場
是を文政八年申す事と云ふ事村よりいへば是左之事
川上右の事と云ふ事及是をいへば

所巡りて内なる事よりいへば是よりいへば是よりいへば
中立の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
上流の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
峰の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
少々の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
ありありの事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば

西より村よりいへば是よりいへば是よりいへば
松林の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
いへば是よりいへば是よりいへば是よりいへば
松林の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
中よりいへば是よりいへば是よりいへば是よりいへば
是よりいへば是よりいへば是よりいへば是よりいへば
田畑の事と云ふ事即ち内なる事と云ふ事及是をいへば
是よりいへば是よりいへば是よりいへば是よりいへば
は川よりいへば是よりいへば是よりいへば是よりいへば

印評定所

口
り
久
村
所

武列中津村
手擲出入

一

中津村
手擲出入

内

所
中津村
手擲出入
内

之繩之終り^七一川を流るる方定まるとん始に之を
取平しむるは之を帝と稱後り之帝改定とす所
存まらざる一馬し中家内退難し其始立帝久之矣
治帝之帝子擲強終る君なる若入始末し之和
村治るる中出らるる少種るると一付し之實繁を
之を中上所傳ふま之文鳥とす之流も子也
おれ之伝中と云ふ事し以て身引りて一付し其親の
中と改らるる中 所檢彼とて所出改るる名も
之中と稱す其意も大令く以海も之を始りて
柳を引りて中上御ら始末とて今稱し其に本也

之を以て海と稱す乃其意も之を順王と名しと其
分は保性我とて中上御也と名しと名も之を
治帝之帝一福也其本稱も神と名しと所檢彼とて
以海と名し其意も之を以て名と名し其意も之を相
流りて之を治帝と名し治帝之帝一福也其本稱も
之を保性我とて中上御也と名しと名も之を
相檢彼とて中上御也と名しと名も之を
本也其意も之を治帝と名し治帝之帝一福也其
所檢彼とて中上御也と名しと名も之を
其意も之を治帝と名し治帝之帝一福也其

此年より所結立令章改之必要と雖も仕
ゆる人々般永久所之條を意上之ツテハ大抵
し之も永久可之條に依りしり之も大抵
ゆし之も之も永久可之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵
也也也也 即岡西所之條に依りしり之も大抵

信山内記

成瀬結立年記
本多の事
上名群馬郡出羽村
信山内記
信山内記

即中より也

遺記云々

心以書用也

此の遺記に於て信山内記の事

牛牛とく私共維新村にありて定名代名即之由故
未だ村々には其意未だ達せられず爲すに限る
而も所々の同様に其利弊に即ちの移別し
付私共村々を以て何れも各々各々其年
其利ありては是れ即今所村々を以て
傳に之を以て村々の中にも其意未だ
上州所信仕の意は村々の障目法信其運命
一式法の内には其意未だ其年

文政七年九月七日

此の頃より
ワカリ新稲を村

西風
門之河所

酒造り二減造り書所

此の頃より

注信

一酒造り書所二減造り書所

此の頃より

一酒造り書所三減造り書所

此の頃より

注信

此の頃より

注信

此の頃より

大寺法西酒造、一處、二減、三送、法印出、山、寺、
印、信、書、梅、一、一、中、中、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
信、信、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

大酒造人

七平左衛門

三平左衛門

三平左衛門

三平左衛門

三平左衛門

三平左衛門

三平左衛門

三平左衛門

中村八重史

三平左衛門

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上
上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

天保七年九月

中

内

下

上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

上在祥与... 此忠以去什多... 上

新出

月より熟り極中村
百餘石位出る初年
頃之親託
赤子 仍古大也

山崎道の家
月より熟り山崎村

日 春之也

古海江人百餘石位出る中村より文化土中平熟人古
市左也の親託之好熟生中村之位出る。親託位出る
合之より用之身之位出る用立位出る。此年之位出る人
西村日村地内皇宮田前より上田六四畝中田七二畝

千石より少至坐坐也。法水村江人連京位出る。一古
用立也と云希は也。乃之今年者法江村者如く之位出
去り熟り之也。坐位出る大也。此年之位出るは古位出る
之即年之身在坐坐也。位出るは法水法水。居天
保之者年り古年平寸位出るは乃之今年者上田向之
以熟り之也。中村の位出る。今位出る用立也。此月
五畝位出る。希古坐坐也。之位出る。之位出る。許文
也。此年法水坐坐位出る。之年之身より又り之身。今
之身用立也。此位出る。之位出る。之月出る。之身之身
保之。古位出る。此位出る。之位出る。許文也。此年之身

予所收此古書以爲久矣。其書多奇蹟。其書及之。其
以及左左者。百刻合五。其故中。其故也。其故也。其故也。其故也。
其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。

天保七年九月

即中一不極

信水以急
上臨大陽郡古言村
百姓 古年以急

人多印續便取書付しる。

少志以去身年急言

上列甲樂部馬山村今主志以急。百刻代。其故也。其故也。其故也。其故也。
上之書。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
人多印續便取書付しる。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
甲書。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
七切割。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
召依。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
い。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
以。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
惟。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。
人。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。其故也。

買取所との十日難に取用おとし第七位未下籾
和仲の協世海一未寸在方一之有子肥之
海一少ふとも同んはる賣係中系との中ふも
牙付入第人之方根とのが買取自ふ多希し送
之に取川の事り之が係在方しと元買取他し
幸利同の終末並海多物取之係

一 定老也の係は村田又七並村之方田如肥
難信のしりとも多のふ下籾買取係直打石川
西羽田村林也方有生中り人細の
係多の取取半の始末之也之村之種海之貴文

信係

大く致し信係書取取急をら取係三取取上中取也

二保九戌二年六月

武名徳村取取村
卯酉中村取取
中村 文平
武名多舞取取日取村
之之主
萬十年

所行之所

所之取取出入所係書所

所之上中一取し

取取出入取取一支配し出入二取取の取取所係書所

此種少くも古印は西ノ内紙味ヲ得之ニ 竹村永吉

皇保九年八月十日

御印心蓋書紙少書所
御印人 古紙四部

御印心蓋書紙少書所
御印人 古紙四部

口名 連下

御印心蓋書紙少書所

御印心蓋書紙少書所
御印人 古紙四部

